



「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 18 日

所属部局・職	霊長類研究所・研究員
氏名	西岡佑一郎

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
日本・東京
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
PWS 協力のキッズジャンボリー参加
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 26 年 8 月 14 日 (4 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
該当しない
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>8月12日～14日の日程で東京国際フォーラム(丸の内)にて「キッズジャンボリー2014」が開催された。当イベントは、子供たちを対象とした教育事業で、様々な団体や教員が体験講座を催した。今回、PWSはワンダーキャンパス研究所「サル・ヒト・キミ研究室～野生動物のふしぎにせまる!～」というコーナーを担当し、私は骨・化石の専門家として参加した。</p> <p>11日に日本モンキーセンターの職員とともに機材や資料を運搬し、講座の準備をした。内容として、「サルリンピック」と称した霊長類との体力勝負(垂直跳び、握力測定、瞬間記憶の測定)や哺乳類の骨格標本を用いた解説、テントや寝袋を用いた調査体験などを準備した。</p> <p>12日～14日のイベント中は、基本的に上述したサルリンピックと骨格標本の解説を担当した。また、13日と14日には小学生対象の「動物の化石取り体験：ちっちゃい怪獣を探し出せ!」という体験講座を行い、子供たちには実際に化石をどうやって探すのか、どんな動物の化石なのか、どの骨の部位なのか等を教育した。体験講座には多くの参加者、見学者が集まり、盛況だったようである。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>動物の化石取り体験講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>骨格標本を用いた動物の特徴と違いの説明</p> </div> </div>
6. その他 (特記事項など)